

「輪廻転生」は「義務である」とお伝えしました。

「魂」は生まれ変わりを重ねながら成長していきますが、「魂」が成長できるのは、「肉体を持ったときだけ」のようです。なぜか。

「魂」だけで過ごしているときは、「事件」が起きないからです。

「魂」は、300年～400年に一度、肉体を持って生まれ変わりますが、肉体がある分、さまざまな制約や事件にさらされます。

「食べなくっちゃいけない」「飲まなくっちゃいけない」「お風呂に入らなくっちゃいけない」

「トイレに行かなくっちゃいけない」「寝なくっちゃいけない」。

「上司に怒られる」のも、「恋愛」ができるのも、「夫婦喧嘩をする」のも、「親子喧嘩をする」のも、肉体があつてこそ。

「魂」だけの状態であれば、制約も事件もなく、とても「ラクな状態」で過ごせますが、そのかわり、まったく「成長」しません。

「魂の成長」には、事故、病気、災難などが重要です。

病気によって優しさを知り、事故に遭って謙虚さを知る。

「魂」は自ら「シナリオ」を書いて、さまざまな事故・病気・災難を設定しています。

それもすべて、「魂の成長」のためなのです。

「魂」を成長・進化させる方法とは、目の前で起こる一つひとつの現象に対して、つべこべ愚痴を言わず、「感謝」を持ってとらえること。

ある現象に対して、「不平不満、愚痴、泣き言、悪口、文句」を言うのは「初期の段階（マイナスの段階）」です。

その後、マイナスから「ゼロになる段階」があり、その先に「嬉しい、楽しい、幸せと思う段階」があります。

この高みに登り、あらゆる現象について「ありがたい」と思えるようになったら、「魂」が大きな成長を遂げています。

『「病気の境遇に処しては、病気を楽しむということにならなければ生きて居ても何の面白みもない」

これは、歌人・俳人、正岡子規が残した言葉です。

若くして結核を患った正岡子規は、「病気を楽しむ」と受け止め、死の直前まで創作活動を続けていました』（同書より）

病気になって、「この程度ですんでよかった、ありがたい」とか「早めにわかってよかった、ツイている」と、「幸せ」や「感謝」の気持ちで受け止める人がいる。

反対に、「ひどい目にあった」とか「ツイてない」と愚痴を言ったり、嘆く人もいる。

小林正観さんは、病気にしても、困難にしても、どんな現象も「中立」でありニュートラルだという。つまり、「幸せ」だとか、「不幸せ」と、とらえる自分がいるだけ。

本人のとらえ方の問題。

「魂」を成長・進化させる方法とは…

目の前で起こるすべての現象に対して、愚痴を言わず、「感謝」の気持ちで接したい。

想い（気）のプラスorマイナスポイント表

無限ポイント

愛

50,000ポイント

感動

40,000ポイント

感謝・幸せ

10,000ポイント

楽しい

1,000ポイント

好き

400ポイント

喜び

200ポイント

思いやり

60ポイント

やさしさ

40ポイント

調和

○

不調和・迷い・不信・不満・不安・頑固・悲しみ・妬み
嫉妬・こだわり・ストレス・執着する・すねる・むかつく
我執・エゴ

-10ポイント

**恐れ・心配・わがまま
競争・争う・超むかつく**

-20ポイント

怒り

-30ポイント

憎しみ

-40ポイント

恨み

-100ポイント以上

プラスの気ポイント
病気を乗り越える
体調がよくなったり

マイナスの気ポイント
病気を引き起す
体調を崩したり

人生を過ごすという事は、誰もが決して逃れる事の出来ない「**生病老死**」の他にも、事故や災難、トラブルなどに直面しては乗り越える事の繰り返しだと思います。（もちろん感動や幸せ（ラッキー）そしていろんな愛を実感する事も多くありますが・・・）

私も今の仕事（健康相談）を通じて確信するのは、いろんな事が起こる時～起きた時に、その人その人がどう捉えて、何と思うかによって、その人の病気・体調に影響を与え、その人の人生まで変えるような気がします。

そして、やっぱり「幸福人生」のキーワードは、どれだけ日々「**感謝の気持ち**」を持って過ごせるかになると思います。

一日一日～感謝と笑顔を積み重ねていくような人生を過ごす事を目標にしましょう！！

